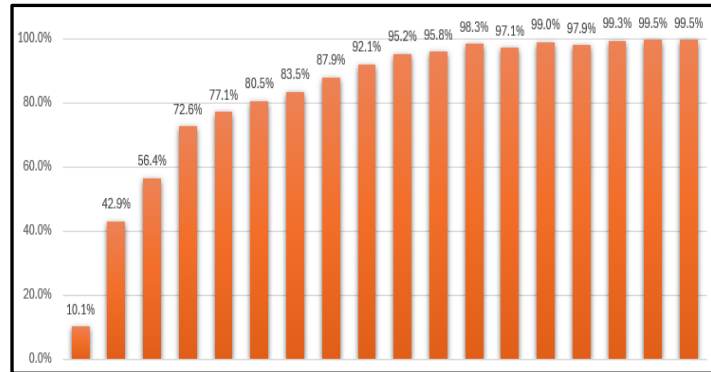




## インターネットは人を幸せにする道具！のほすですが・・・

右のグラフを見てください。こども家庭庁が調査した「青少年のインターネット（以下、ネット）利用状況」を年齢別で表したものです。よく見ると「年齢」が入っていませんよね。実は、一番左の「10.1%」の利用率は「0歳」の子どもデータです。順に、1歳、2歳、…17歳までとなります。つまり、生まれてからやっとな話ができるようになる2～3歳の時点で、過半数を超える子どもがネットを利用していることとなります。

### 年齢別のインターネット利用率



(令和6年度こども家庭庁調査 保護者3,174人の回答を集計したもの)

### 「正しく恐れて 賢く使う」

私たちが現在社会で生活するうえで、ネットはなくてはならないもの、なくなると困るものになりました。ネットによって人は色々なことができるようになり、そして膨大な情報をものすごい速さで得ることができるようになりました。これは人にとって、とても幸せなことです。・・・ですが、1つ間違えると人生を狂わせてしまうような危険が潜んでいることもネットの特徴です。「いたずらのつもりだったのに」「こんなことになるなんて知らなかった」とネットトラブルを後悔しても、ネット社会での過ちは「戻れない」「消せない」ということを理解してください。

右のQRコードより、総務省の「安心・安全なインターネット利用ガイド」を見ることができます。大変ためになる情報がたくさん掲載されています。ぜひ、一度視聴してみてください。



### 【ネットトラブル意識度チェック】

下の質問に「これくらい大丈夫」なら○、「これはダメ」なら×を入れてみましょう。

- ①「この学校を爆破する」と冗談でSNSに書く
- ②友達のテストの点数を写真にとって尊敬する意味で「すごいね！」とSNSに投稿する
- ③部活で着替えているときの友達の裸の写真をスマホで撮る
- ④お気に入りの漫画のシーンをスマホで撮ってSNSに投稿する
- ⑤友達に「○○うざい、消えてほしい」とSNSに書く
- ⑥友達のパスワードでアカウントにログインする

### 北九州市ネットトラブルから自分を・仲間を守るための5か条

「ネットリテラシー」で求められる3つの力

- 情報正しく受け取る力
- 適切に発信する力
- 安全に使用する力

- 「ちょっとまって。」その内容、ほんとに送って大丈夫？**  
書き込む前や送る前に、友達がイヤな気持ちになる言葉や写真・動画が入っていないか確かめよう。
- 自分のこと「のせない」「送らない」「広げない」**  
写真や動画の投稿に気を付けよう。自分の身は自分で守ろう。
- 「あやしいな。」見ない・聞かない・返さない**  
あやしいメールやメッセージなどに気づいたら立ち止まる力を身に付けよう。
- その情報、ほんとに正しい？見極めよう**  
1つの情報だけで判断するのではなく、いくつかの情報と比較する習慣をつけよう。
- 「どうしよう。」一人で悩まずおとなに相談**  
少しでも気になったら安心できるおとなに相談しよう。

この5か条は、北九州市の子どもたちが中学校区ミーティングで考えたルールをもとに作成しました  
北九州市教育委員会 / 一般財団法人 北九州教育財団

また、北九州市でも「ネットトラブルから自分を・仲間を守るための5か条」が作成されました。校内にもポスターを貼っています。被害者にも加害者にもならないように、生徒も私たち大人も、正しく恐れて賢く使えるように深く思考しましょう！

相談窓口については、4月22日にテトルで配信されています。確認してください。

【解説】全て「×」です。次の犯罪になる場合があります。よく思考してしなやかな行動を。

- ①威力業務妨害（冗談でもダメ）②名誉棄損罪（点数は関係なし）③児童ポルノ禁止法違反（写真を所持する時点でダメ）④著作権法違反（不特定の人が見るSNSはダメ）⑤侮辱罪（誹謗中傷は絶対ダメ）⑥不正アクセス行為禁止法違反（人にパスワードを教えない）